

1 うんちコロコロうんちはいのち



- ① きむらだいすけ/さく・え
- ② 岩崎書店
- ③ 1600円
- ④ E

アフリカの大地に生きるフンコロガシは、うんちが大好きです。そのフンコロガシは、どの動物のうんちが好きなのか知っていますか？命や食の連鎖や自然の仕組みの不思議さについて、フンコロガシを通して学ぶことができる一冊です。

2 えほん七十二候 はるなつあきふゆ めぐるぐる



- ① 白井 明大/作
くぼ あやこ/絵
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ E

擬音語、擬態語を多く使い、声に出して味わう本です。七十二候について、分かりやすい詩と美しい絵で描かれており、詳細な解説もあります。この本を声を出して読むことで、めぐり変わる四季を感じることができる作品です。

3 おとうふやさん



- ① 飯野まき/さく
- ② 福音館書店
- ③ 900円
- ④ E

おとうふやさんを舞台に、大豆からとうふができていく様子がわかりやすく描かれています。また、あぶらあげやがんもどき、きぬごしとうふのできる行程やおとうふを買いに来た人の様子、後かたづけについても描かれており、楽しさや驚きがつまった一冊です。

4 火星にいった3人の宇宙飛行士



- ① U. エーコ/さく
E. カミ/え
海都洋子/やく
- ② 六耀社
- ③ 1500円
- ④ E

アメリカ、ロシア、中国の宇宙飛行士が、地球から遠い火星で火星人に会います。そこで、言葉や文化が違っていても、お互いに信頼し合うことの大切さに気づかされます。宇宙規模で物事を考えると、小さな争いなど取るに足りないことだと気付かされる一冊です。

5 くれよんがおれたとき



- ① かさいまり/さく
北村裕花/え
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ E

友だちのゆうちゃんに新品のクレヨンが折られてしまったさくらちゃんは、ゆうちゃんを許すことができません。しかし、そんな自分がゆうちゃんをどれだけ困らせていたのか知ったとき、心が変わります。
お互いの気持ちを思いやる言動により二人が成長し、絆が深まっていく物語です。

6 子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし



- ① バーナデット・ワッツ/作・絵
福本友美子/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1600円
- ④ E

子うさぎのジャックは、友だちを連れて冬のキャベツ畑に出かけましたが、間もなく辺りは暗くなり、雪が降ってきて家に帰れなくなりました。そんな時、いつもひとりぼっちで寂しそうな「かかし」が助けてくれて…。

他者を思いやる優しい心を描くと共に、季節の美しい描写や絵に魅かれる一冊です。

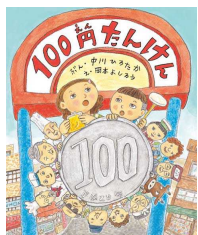
7 子どもばやしのお正月



- ① さげさかのりこ/作
- ② 福音館書店
- ③ 1200円
- ④ E

祭り囃子が生まれたのは江戸時代のことで、江戸時代から伝わる音と踊りは今の時代でも、子どもたちに受け継がれています。お正月に奉納される「子どもばやし」の様子が、2年生の主人公を通して詳細に描かれ音や香りまで伝わってくるようです。日本の伝統文化の一端を知るきっかけになる一冊です。

8 100円たんけん

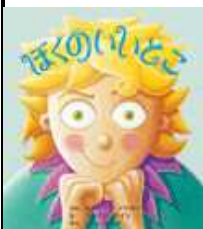


- ① 中川ひろたか/ぶん
岡本よしろう/え
- ② くもん出版
- ③ 1300円
- ④ E

ものの価値ってなんだろう。主人公の男の子はお母さんと商店街を探検しながら100円玉と「交換」できるのは、お店やものによって全然違うことを知っていきます。

人はものを買うとき、そのものの価値が値段とつりあっているか判断するという概念を分かりやすく描いています。

9 ぼくのいいとこ



- ① スティーヴ・メッガー-/ぶん
ジャン・ケイン/え
いしいむつみ/やく
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1900円
- ④ E

人は誰でもそれぞれにいいところがあり、他人の長所をことばにすると自分のいいところにも気づくという内容です。どんな時でも、前向きに考え行動すると、最高の気分になれることが描かれており、自分のいいところを見つけながら元気になれる一冊です。

10 こころのふしぎたんけんえほん



- ① 平木典子/監修
- ② PHP 研究所
- ③ 1600円
- ④ 14ヒ016

「こころってなんだろう」、「自分の気持ちをじょうずにつたえるにはどうしたらいいんだろう」という疑問をいっしょに考える内容です。どこにあるのか見えない「こころ」のふしぎについて語りかけ、わくわくしながら「こころ」のたんけんができる一冊です。

11 草刈りをするハチ
アシナガバチの生活



- ① 須田貢正/さく・写真
② 六耀社
③ 1400円
④ 48ス016

アシナガバチの春夏秋冬の生活の様子がたくさんの写真で紹介されています。ハチと共生して観察してきた著者は、ハチの様子を詩のように描いています。また、人々が自然に親しみ心おだやかであるようにという願いが込められた一冊です。

12 いえができるまで



- ① 砺波周平/取材・構成・写真
② ひさかたチャイルド
③ 1300円
④ 52ト016

何もない土地に一軒の家ができるまでの工程を写真で追っていきます。家は、あらゆる職種の人々が力を合わせ、様々な材料や機械を使って造られていくことがよく分かります。建築関係への興味関心が高まると共に、そこに携わる職業を知ることができます。

13 てんきのいい日はつくしとり



- ① 石川えりこ/さく・え
② 福音館書店
③ 1400円
④ 91イ016

初めてのつくしとりに「ちえちゃん」が挑戦します。おばあちゃんとおにいちゃん、おねえちゃんも一緒です。でも、なかなか大きなつくしを見つけることができません。帰る間際になって、偶然転がっていった土手の下で、王様つくしを発見します。つくしとりを通して自然を感じることができる作品です。

14 みてろよ！父ちゃん！！



- ① くすのきしげのり/作
小泉るみ子/絵
② 文溪堂
③ 1300円
④ 91ク016

明日はいよいよ運動会。でもアキヨシの父ちゃんは大工の仕事で応援に来ることができません。不満を抱えるアキヨシですが、運動会の前日に、人知れず運動会の設営を行う父ちゃんの姿を見て心を打たれます。父の子に対する愛情や二人の強い信頼関係を紡ぐ感動の一冊です。

15 りこうな子ども
アジアの昔話



- ① 松岡享子/編・訳
下田昌克/絵
② こぐま社
③ 1200円
④ 92マ016

かしこい子どもが、知恵を使い勇気を出して、悪い大人たちに立ち向かいます。さまざまな困難が待ち受けていますが、それを切り抜け正しい結末にみちびく昔話です。このインドネシア、ネパール、インドの3話は、知恵や勇気について深く考える機会をあたえてくれます。